

平成30年10月16日

桑名市長 伊藤 徳宇 様

桑名市議会議長 竹石 正徳

市立小学校普通教室へのエアコンの早期整備に向けた予算措置に関する要望書

市は、去る9月定例会において空調設備整備事業費を含む平成30年桑名市一般会計補正予算（第2号）が可決成立したことを受けて、市立小学校・幼稚園の教室等への空調設備整備に係る調査検討業務委託に着手されますが、国においては、今年も日本各地において記録的な猛暑が続いたこと、また7月には、校外学習から戻った愛知県豊田市の小学生が熱中症で亡くなるという、痛ましい事故が起こったことなどを受け、緊急対応が必要であるとの認識のもと、第197回秋の臨時国会へ臨時特例的な新しい交付金制度の創設を提出する旨の閣議決定が、昨日されたとの報道がありました。

現在、本市の市立小学校・幼稚園では、扇風機の設置など暑さ対策は講じられておりますが、いまだ十分ではなく、健康面での不安解消や集中して学習できる環境づくりへの取り組み強化が必要であると考えます。

つきましては、将来の桑名市を担う子どもたちの生命を守るため、市議会として下記項目を要望いたします。

記

- 1 市立小学校普通教室にエアコンを早期に整備すること
- 2 国の特例措置を受けて、全国でエアコン整備が急激に進むことが予測されることから、市においては補正予算を早急に調整し、速やかに市議会に提出すること
- 3 エアコンが設置されるまでの間、熱中症対策の注意喚起など、児童及び教職員の健康管理に万全を期すこと